

柏尾川桜並木保全・再生の取組スタート！

応援アンバサダーに

プロサッカー選手 **遠藤 航** 選手が就任！



遠藤選手からの
メッセージ

柏尾川の桜並木は練習帰りにチームメイトと一緒に歩いた思い出の場所です。戸塚の柏尾川桜並木を未来につないでいけるよう、応援しています。

柏尾川桜並木保全・再生の取組について

柏尾川の桜並木が老齢化や病害などで安全管理上、伐採せざるを得ないため、年々、本数が減少しています。

そこで、柏尾川桜並木保全・再生検討委員会を立ち上げ、戸塚区の魅力である柏尾川の桜並木の減少を食い止め、今の景観を未来へつなぐための取組を進めています。

令和5年度

桜並木のうち444本を樹木診断し、うち94本は幹の空洞化やベッコウダケの寄生などが確認され安全管理上、伐採が必要と判断されました。

令和6年度

柏尾川桜並木保全・再生検討委員会を立ち上げ、桜並木を未来へ残そうという熱い思いを胸に、保全・再生計画の策定に向けて検討を進めています。

令和7年度から

ふるさと納税の活用なども検討し、区制90周年の2029(令和11)年に向けて美しい桜並木を残す取組を進めていきます。



プロサッカー選手 遠藤 航 選手
1993年生まれ 戸塚区出身
横浜市立南戸塚小学校・南戸塚中学校卒業

☎ 区役所企画調整係 (Tel) 866-8327 (Fax) 862-3054

つむぐ戸塚のいまむかし vol.4

ちょっと昔の「とつか」のお話
あの場所で昔あった、
「あんなこと」「こんなこと」…
地域の皆さんに聞きました

今から60年以上前、瀬谷区も泉区も栄区も「戸塚区」でした。当時教師として鹿児島から赴任されて以来、戸塚の郷土史を研究されてきた有馬さんにお話を聞きました！

※戸塚区から1969(昭和44)年に瀬谷区、1986(昭和61)年に泉区・栄区が分區

学校の先生をされていた頃の思い出を教えてください。

もともと鹿児島で教員をやっていたのですが、昭和30年代初め、25歳の頃に縁あって横浜市中和田小北分校(※現在の飯田北いちよう小学校(泉区))へ赴任してきました。当時の学校周辺は、水田や畑が広がる農村で、京浜方面に出荷する野菜作りが盛んでした。戸塚の柏尾川沿いには工場がたくさんあったけど、地域によっては農家も多かった。児童の中には、赤ん坊をおんぶして学校にくる子もいましたよ。大人は一日中働いているから。それくらい農家は忙しかったんです。当時は教師も友だちも、それを受け入れるおおらかさがありました。忙しくても保護者は学校の行事に協力的でしたよ。授業参観で保護者に「勉強のことは俺に任せておけ」と言って、みんなで歌を歌った記憶があります。今より先生と生徒・保護者の距離がずっと近かったように思います。



横浜市中和田小 北分校(昭和39年頃)



学校での朝礼の様子



ありま すみのり
有馬 純律さん

郷土史との出会いや、戸塚区周辺の生活の変化を教えてください。地域と仲良くするには地域のことを知ることが必要でした。そうすると、地元の方は「俺たちのことを分かってくれる人だな」と受け取って、大事にしてくれたんです。戸塚で人口が急増したころ、戸塚に引っ越してきた人が言いました。「ここが第二のふるさとになるけど、戸塚のことを知らない。一生ここで過ごすのだから、この土地のことを知りたい」と。それで、歴史散歩を始めて、のちに「郷土戸塚歴史の会」をつくりました。高度成長期を経て農村も変わりました。それまでの野菜中心の農業から、果物や花、畜産に変わっていき、現在の戸塚のすがたになっていきました。

ちょっと昔の「とつか」を知りたい
インタビューー募集中！

戸塚にゆかりのある人に聞いたお話を、歴史資料として記録しています。戸塚の魅力を探したい、知りたい、人の話を聞くのが大好きな人大歓迎！お気軽にお問い合わせください。

☎ 区役所企画調整係 (Tel) 866-8326 (Fax) 862-3054



働く世代の人たちへ 職場から始める健康づくり

●健康経営ってなあに？

働く人の健康維持・増進の取組を投資ととらえ、企業が経営戦略として行うものです。職場での取組は働く世代の生活習慣予防につながり健康状態を改善させる決め手となります。

区内では現在、50か所の企業が健康経営の認証を受けています。その中でトップクラスの認証「AAA」を受けた「幼保連携型認定こども園 南幼稚園」で実践している内容をご紹介します。

幼保連携型認定こども園 南幼稚園
深谷町456-6



※「健康経営」は特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

働く人の力を発揮してもらうためには、心も体も健康なことが一番大切だと考えています

- 作業デスクをハイテーブルに&足首ストレッチ機器を設置
…固定されがちな姿勢を変えて疲労軽減！
- 管理栄養士による栄養指導や栄養価を計算した昼食の提供
…普段の食事バランスや味付けにも気をを使うようになった！
- 管理職員によるアプリを活用した労働時間の把握
…職場環境の改善につながっています！



▲職場のハイテーブルと足首ストレッチ機器

横浜市健康経営認証を知りたい企業、認証を受けたい企業はWEBから！



【令和7年度からの認証に向けた応募期間】
令和6年9月30日まで

まずは応募してみよう！



区役所健康づくり係では体組成計などの健康測定機器を使った出張講座を行っています。ぜひお問い合わせを！

☎ 区役所健康づくり係 (Tel) 866-8426~7 (Fax) 865-3963